

令和六年度 卒業証書授与式 式辞

日差しが日に日に暖かさを増し、早咲きの花々が春の訪れを感じさせるとさわやかな今日の佳き日に、ご来賓並びに多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに大阪府立牧野高等学校第四十七回卒業証書授与式を挙げてきますことは誠に慶びに堪えませぬ。

只今、卒業証書を授与されました牧野高等学校第四十七期二百七十六名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。牧野高校を代表して、皆さんのご卒業を心から祝福いたします。

保護者の皆様には、本日、ご卒業の日を無事にお迎えになられましたお喜びは、いかばかりかと拝察いたします。心よりお祝いを申しあげますとともに、ご入学以来、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りましたことに、改めて感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

また、本校学校運営協議会会長松宮新吾様をはじめ、本日の式のためにわざわざお越し下さいました御来賓の皆様、ご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

さて、卒業生の皆さん、三年前の入学式、私は皆さんと同じように、少しの緊張ととても新鮮な気持ちでこの場に立っていました。校長として初めての入学式でした。その時、私は、成人年齢が十八歳になったことを受け、成人になると自由に生きることができる反面、責任も自分がとることになる、そのためよく考え、自己を律する生き方をして、大人になる準備をしてほしいとお話しました。

今、皆さんのほとんどは成人しましたが、その準備をした実感はあまりないのかもかもしれません。しかし、本校で大勢の人と出会い、たくさん勉強し、行事や部活動に一生懸命取り組んだことは、間違いなく皆さんを大人へと成長させていきました。

皆さんが入学した頃、コロナ禍はまだ続いていましたが、社会は感染対策をしながら社会経済活動を行うという考えにシフトしていききました。本校においても、その考えを受け、過去二年間実施していなかった体育祭の開催にふみきました。当時の三年生・二年生も経験したことがない体育祭、生徒と教職員が一丸となり、保護者の皆様の協力も得て、全員の気持ちが一つになり、感動、笑顔、涙を分かち合う素晴らしい体育祭になったことを昨日のこのように覚えていきます。

二年生になり、新型コロナウイルスは感染症法上の五類に分類され、全国の感染者数の報道もなくなり、長い間かかっていた霧が晴れて、視界が開けていくように感じたのは私だけではなかったと思います。部活動の公式戦も有観客、声出しが可になり、ようやく当たり前前の高校生活ができるようになりました。

そして今年度、コロナは完全に過去のものとなりました。皆さんは最上級生として、勉強、行事、部活動にしっかりと取り組み、後輩たちに高校生活の過ごし方、楽しみ方を態度で示してくれました。皆さんの学年は、学年が上がるにつれマスク着用者が減っていききました。このことは卒業アルバムを見ればよくわかります。今年の卒業アルバムは、皆さんの成長と思い出の記録というだけでなく、コロナからの克服を示す記録として、価値ある一冊となりました。

皆さんの成長の証とも言えるエピソードを一つ紹介します。修学旅行最終日のことです。私が乗っていた四号者のバスガイドさんが、わざわざ私のところに来て、感謝の気持ちを述べられました。

「この四日間、本当に気持ちよく仕事ができました。生徒の皆さんのおかげです。明日からまた頑張って仕事をしよう。そういう気持ちにさせてくれました。この思いは私だけでなく他のガイドも同じです。」 私がどういうことですかと尋ねますと「牧野高校の生徒さんは時間をきちんと守る。トランクから荷物を取り出す時、頼んでもいないのに誰ともなく手伝ってくれます。バスの中で私の話をすっかり聞いて反応してくれる。おかげで気持ちよく仕事ができました」といったことでした。毎日、多くの修学旅行生や観光客と接しておられる方の言葉だけに、この言葉は値打ちがあります。本当に嬉しく思うとともに、四十七期生の皆さんを誇りに思いました。

実は、このエピソードには、人間を幸福にする要件が含まれています。そして、その要件は、紀元前四世紀頃から今日まで約二三〇〇年間、変わっていないと言われています。古代ギリシアの哲学者アリストテレスは、状況を的確に見極め決断する判断力、自分の欲をコントロールする抑制、他者やチームを重んじる正義、これら三つの力に、困難に立ち向かう勇気を加えた四つの方が人間の幸福の実現に必要な力であると説きました。

先ほどの修学旅行のエピソードは、判断力、抑制、正義が皆さんに備わっていることを示しています。また、勇気もコロナ禍を乗り切った皆さんには十分備わっています。皆さんは本校でこれら四つの力をしっかり身につけ、自分自身はもちろん、保護者の方、先生方、友達、周りの人を幸福にしてくれました。

一方、科学技術の進歩も人々の暮らしを豊かにしてくれませんが、今は、そのスピードが速く、次々と新しいものが生み出され、人間はそれに振り回されるようになりました。とりわけ生成AIの登場は世界を変えました。AIに先月あった大学入学共通テストを解かせると九割を超える得点率だったという報道もされており、読解力や数学的思考力では、近いうちに人間はAIにかなわなくなると思います。そして、このままいけば、人間がAIに支配される社会が来るかもしれません。そうした社会が人間にとって本当に幸福な社会と言えるのでしょうか。

私は、科学技術は暮らしを豊かにするツールではあると思いますが、人間を本当の意味で幸福にすることはできないのではないかと思っています。

なぜなら、人間を幸福にする先ほどの四つの力は他者との関わりの中でしか身につかない力だからです。これから先、今まで以上に変化のある社会がやってきます。本校で身につけたこれらの力に磨きをかけ、皆さん自身の幸福の実現と幸福な社会を創りあげていってほしいと願っています。

最後に、今、皆さんが手にされた卒業証書は、皆さん一人一人の努力の賜物であることはもちろんです。ご家族や先生方、友人など多くの方の温かい支援があつてのものです。このことも決して忘れることなく、感謝の気持ちを持つようにしてください。

それでは、皆さんの前途を祝し、これからの限りないご活躍とご発展を心から祈念して式辞といたします。三年間皆さんと同じ時間を共有できた私は本当に幸せでした。卒業おめでとう。

令和七年二月二十八日

大阪府立牧野高等学校

校長 高松 智